

◎ **死別の分かちあいの集い：14時～16時**

- ・伴侶：毎月**第一土曜日**（12/8、1/5、2/2）
- ・子ども：毎月**第一日曜日**（12/9、1/6、2/3）
- ・自死：毎月**最終土曜日**（11/24、12/29、1/26）

本堂2階にて開催しています。予約も参加費も不要です。遅刻も早退も構いません。辛い寂しいお気持ちを吐露してください。超覚寺門徒でなくても参加できるので、お知り合いの方にも是非ご案内ください。

☆ **浄土真宗基礎講座：毎月最終日曜日14時～15時**

親鸞聖人が記された正信偈の講義や読経の練習をしております。初めての方も遠慮せず、どうぞ参加ください。

今後の学習会 ⇒ 11/25、12/30、1/27、2/24

☆ **書写(写経)の時間：毎月最終日曜日15時～16時**

上記の学習会の後、1時間ほど書写(写経)の時間を設けています。書写だけの方も、この時間帯に本堂2階までお越しください。参加費は不要ですが、書道の道具や筆<sup>ペン</sup>は各自ご持参ください。

◇ **つぶやき・ぼやき**

・ 広島ホームテレビ（テレビ朝日系列）朝の情報番組【やじうまテレビ】の「きょうの説法」コーナーの法話は半年毎に単行本化され、12月中旬に第3巻が出版されます。私が出演した6月4回分も掲載されるので是非ご笑覧ください。今月11月の月曜日も担当しています。なお印税は全て“自死・自殺に向き合う僧侶の会”に寄付されます。

・ よやく本堂のリフォームが始まります。また工事等でご面倒をお掛けいたしますが、何とぞご了承いただきますよう、お願いいたします。

発行人：超覚寺住職 釈隆恩(和田隆彦) (\*-\*)人 i~ 合掌

2012年 冬(11月) 超覚寺報 第4号

【八丁堀だより】



真宗大谷派(東本願寺)



林鷲山 超覚寺  
憶西院

RIN-ŌH-ZAN OKU-ZEI-IN CHŌH-KAKU-JI  
(since 仏暦2002, 西暦1619, 元和5)

〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀 5-2  
Tel : 082-221-1234 ; 090-9999-3113  
Mail : otera@kme.biglobe.ne.jp  
Blog : <http://namuamidabutsu.ameblo.jp>

## 超覚寺 冬・春の法要のお知らせ

慈光のもと、平素は様々にお世話になっておりますこと、  
ありがたく存じます。さて、下記の通り法要・法座を  
勤修致しますので、ぜひご参詣くださいますよう、  
ご案内申し上げます。 <(\_ \_)>

### ◎ 超覚寺門徒 大晦日追弔会法要

12月31日(月) 11時～ 勤行・法話 (約30分)

この1年間で大切な方を見送られた皆さまに一堂に会して  
お参りいただき、亡き方をお偲びするとともにその仏徳を讃え  
させていただきます。法要後は茶話会を開く予定ですので、  
ご都合の良い方は、お互いの想いを共有いたしましょう。  
有縁の方々はどうぞお参りください。

### ◎ 2013年修正会法要

1月1日(火・祝) 6時、8時、10時、12時、

住職が約10分ほどの勤行・法話を勤めます。ご都合の  
良い時間帯にお墓参りされた後、本堂までお参りください。

### ◎ 2013年春季彼岸会法要

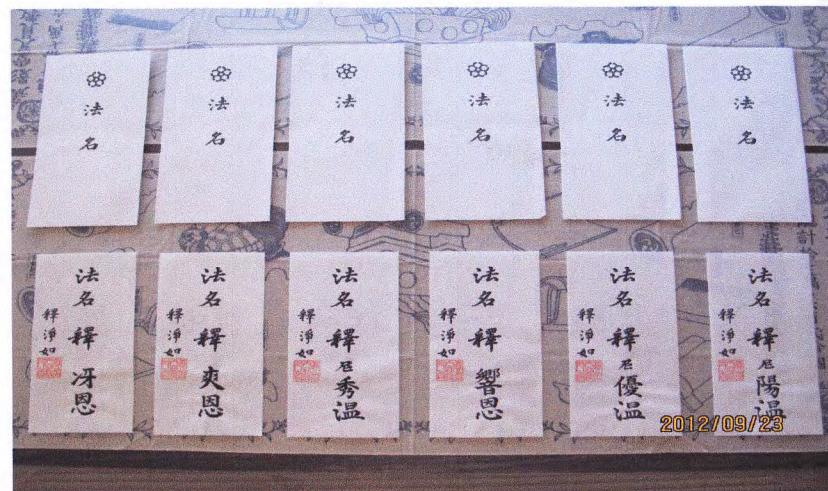
3月20日(水・祝) 10時～ 勤行・法話 (住職)  
11時～ 落語会 (桂文鹿師)  
お昼～ おとき

超覚寺改修工事完了記念の法要になります。  
桂文鹿さんは2年前の落語会にもお越しいただきました。

## ☆ “法名”考

9月の東本願寺への団体参拝では、参加者の方々は帰敬式を  
受式し法名をいただきました。皆さん数ヶ月じっくり考えて俗名(本名)  
から1字、仏弟子になる想いを込めた1字を組み合わせて、“釋〇〇”  
・“釋尼〇〇”とご自身の法名を決められました。

私の家族も全員受式しました。男子は私の祖父「教恩(本願寺  
派僧侶)」から【恩】を、女子は妻の曾祖父「潮温(日蓮宗僧侶)」  
から【温】を、いただきました。



## ◇ 2013年の年回忌に該当する方はご確認ください。

・2012(平成24)年：1周忌   ・2011(平成23)年：3回忌  
・2007(平成19)年：7回忌   ・2001(平成13)年：13回忌  
・1997(平成9)年：17回忌   ・1989(平成元)年：25回忌  
・1981(昭和56)年：33回忌   ・1964(昭和39)年：50回忌  
月参り、祥月命日参りも復活しました。上記以外の回忌も承ります。  
ご自宅でもお寺でも、お参り希望の方はご連絡ください。

### ◇ 超覚寺同朋の会奉仕団（9/15～17）報告

参加者19名で、9/15～17の日程で東本願寺に団体参拝いたしました。境内の宿坊で二泊し、清掃奉仕・講義・座談・帰敬式・諸殿拝観をしました。旅館のような大部屋で皆一緒に過ごしましたが、家族以外の方々と一緒に寝泊りすることが、まるで学生時代のクラブの合宿のようだと言っていました。他には、延暦寺・知恩院・西本願寺にも参拝したり、飛び地境内の名勝「渉成園」の客殿で精進料理をいただいたりしました。

来年は、12月18日～20日(水・木・金)の日程で団体参拝に行く予定です。この期間は“お煤払い”と称して御影堂(東本願寺の本堂)を大掃除します。大変寒い時期ですが、普段は入れないような場所にも入れ、阿弥陀如来や親鸞聖人像も間近で拝めます。今回も15名を目処に募集いたしますので、関心のある方はどうぞお問い合わせください。



### ☆ “仏旗(ぶつき)”考

仏旗とは、お釈迦さまの教えを守り仏道を歩んでいくことの大きいなる旗印で、今年から法座の度に門柱に掲げております。この仏旗の6色は、お釈迦さまが2月15日の入涅槃の時に放たれた光を模しています。順に、青・黄・赤・白・橙、そして一番右の列には5色を上から順番に並べた縞模様となっており、それらの色にはそれぞれ意味が込められています。

- ①青： 如来の毛髪の色で、心乱れず穏やかな状態で力強く生き抜く、「定根(じょうこん)、禅定(ぜんじょう)」を表す。
- ②黄： 如来の身体の色で、豊かな姿で確固とした揺るぎない性質、「金剛(こんごう)」を表す。
- ③赤： 如来の血液の色で、大慈悲の心で人々を救済することが止まることのない、「精進(しょうじん)」を表す。
- ④白： 如来の歯の色で、清らかな心で諸々の悪業や煩惱の苦しみを清める、「清浄(しょうじょう)」を表す。
- ⑤橙： 如来の袈裟の色で、あらゆる侮辱や迫害、誘惑などによく耐えて怒らぬ、「忍辱(にんにく)」を表す。
- ⑥？： 残りの1色には独自の色は配されず、他の5色を上から順に並べた縞模様で表現、如来の「輝き」を表す。

日本で旧来から用いられている仏旗の色は、青が緑、橙が紫であり、超覚寺の旗はこちらになります。

右の写真は、新しくなった寺門と仏旗です。次は、大晦日と元旦に掲揚します。お墓参りの際には是非ご覧ください。

